

さっぽろ

市議会だよ



ライラック

平成17年第1回札幌市議会定例会終わる

第1回定例会

平成17年度各会計予算などを可決 P.2

札幌市議会公務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例案などを可決 P.3

代表質問から P.6

その他

平成17年度各委員会メンバー紹介 P.5

市議会タイムマシーン P.12

平成17年(2005年)5月 No.66



さっぽろ市議会だより No.66 平成17年(2005年)5月発行

本会議のインターネット生中継を開始

平成17年第一回定例会による本会議の生中継が、インターネットで生中継される本会議は、「子どもたちの権利条約のパンフレットを作つてほしい」「市長の演説も見たい」といった大人負けの質問も飛び出しました。それらに対して上田市長が答弁を行い、予定期間を超えての熱心なやりとりが行われました。

平成17年第2回定例会審議日程(予定)

月 日	審 議 日 程
6月1日㈬	本会議 提案説明など
7日㈭	本会議 契約案件決議、代表質問
8日㈮	本会議 代表質問
9日㈯	本会議 代表質問、議案付託
10日㈰	(休会)
13日㈪	本会議 (常任委員会) (最終日)



1月11日、札幌市議会の本会議場で、「こどもたちの権利条約のパンフレットを作つてほしい」「市長の演説も見たい」といった大人負けの質問も飛び出しました。それらに対して上田市長が答弁を行い、予定期間を超えての熱心なやりとりが行われました。

予ども議員たおばは、「子どもたるものだから、子どもの権利条約のパンフレットを作つてほしい」「市長の演説も見たい」といった大人負けの質問も飛び出しました。それらに対して上田市長が答弁を行い、6つの委員会と一緒にテーマを決めて、昨年秋から現地視察や議論などを準備を進めてきました。

予ども議員たおばは、「子どもたるものだから、子どもの権利条約のパンフレットを作つてほしい」「市長の演説も見たい」といった大人負けの質問も飛び出しました。それらに対して上田市長が答弁を行い、6つの委員会と一緒にテーマを決めて、昨年秋から現地視察や議論などを準備を進めてきました。

昭和35年5月6日・昭和34年5月1日・定数48人

議席の決定は抽選で――

現在の議席位置は各会派で決められていますが、昭和38年までには抽選で決めていました。新議員が決定し初議会になると選挙管理委員会から抽選した抽選用の器械を50音順に各議員が福引のように、「あらがい」と回しました。名議席にはばねぞれ番号があり、器械を回すと番号の付いた玉が出て、議席が決まりました。

市議会タイムマシーン

ぜひご覧ください

この期の主な出来事

- 国連総会に加盟(昭和31年12月)
- 天皇(当時天皇)御成婚、安政駐勤(昭和34年4月)

札幌市資源分掌案例の一部を改正する事例等

地域におけるまちづくりを一貫して支援する組織体制を充実させたもの、企画運営部・市民局並びに、一部を統合して、市民まちづくり局を設置するものであります。また、都市基盤の整備を効率的に進めたため、市営住宅や市道等の市局を統合するほか、市民スポーツセンターを観光文化局へ移管するものです。



▲5月20日にオープン予定の視聴覚障がい者情報センター

可決・同意された 主な議案

平成17年度予算規模 (単位:億円)			
区分	17年度	16年度	増減率(%)
一般会計	7,935	8,128	▲2.4
特別会計	4,554	4,377	4.0
企業会計	3,064	2,923	4.8
合計	15,553	15,428	0.8

平成17年度各会計予算（19件）

札幌市基金条例の一節を抜粋す
敬老例年賃便乗車料の一部を設立す
運営に資するため、新たに敬老便乗
車乗車料金を設置するもの福祉施設
札幌市老人・障害者福祉施設
条例の一部を改正する条例案
老化社会の著しい現況障害者福祉な
べより、それを駆逐する現状を解消し
よるため、現行の制度が今後の急務的な
情報提供を行う施設として視聴覚器
がつる機器センターカーを新たに設置す
ることにより、より多くの障害者の方に
必要な事項を伝達できるようす

経営の目標は、販売行為を事業の実業化によって、より適切なものとする。このため、運送路をより効率的なものに改修するにかかる費用は、運送者自身によるものと見なされる。改修費(4)が生じる見込みとなる。除雪費その他

札幌市立学校授業料等に関する条例
市長の部 改正案を承認する件

道立高等専門学校の授業料の改定に関する件
度入学生から授業料を改定する件

固定資産評価審査委員会委員選任に関する件

8月で住居を譲渡された箇園公民館の運営について
氏を引き受けたものと見なされ、改修費を負担せしめた。

札幌市立小学校の学年構成に関する件

2回で仕組を変更された長井教諭

札幌市住民基本台帳登録制度
住民基本台帳登録制度の運営
のため必要な執行を図るため、
住者の請求権を閲覧の請求を細胞化して
いたが、登録登記等の事務を
行なう場合などについても年次登録
の手続を簡便化する目的で、
ソフトウェアシステムの適正な運用を
図るために実施するものである。
平成16年度一般会計補正予算
次の内容で予算額は億円で「1.7」万円
と記載するものです。
①台帳登録により破損した美術館登録
館ある中島庭球場の本格修理費

議員の調査研究に資する事項を目的として、その行使の透明性を確保するため、収支報告書に領収書の写しの添付を義務付けたものです。

③月次任期を満了された福岡一郎
部氏の後任者として、加藤喜也氏を選出するについて議会の同意を得る
件

④教育委員会委員長任命に関する件

監査委員選任に関する件

⑤3月で任期を満了された松平英樹氏を氏を引き継ぐ任命する」とについて議会の同意を得る

札幌市議会議員の報酬、費用弁償及び詰手当に関する条例の一部を改正する条例案、常任委員会、議定例会、常任委員会、議会運営委員会および特別委員会の会議に出席した議員に対して支給されている費用弁償を、平成17年4月1日から昭和19年4月1日までの期間、20%削減するものです。

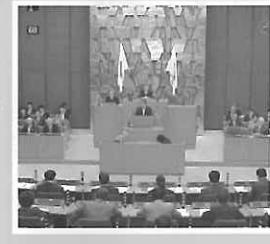
第1回 札幌市議会定例会

平成17年度各会計予算 (総額1兆5,553億円)を可決

平成17年第1回定例会は、2月16日から3月30日までの43日間開かれました。

代表質問は2月22日から3日間にわたり行われ、8人の議員がそれぞれ会派を代表して、市政に関する諸問題について質問しました。

最終日までに、平成17年度各会計予算や、札幌市事務分掌条例の改正案など議案67件、意見書案6件、決議案1件が、全会一致または賛成多数で可決または同意されました。



を終結し、平成12年度予算の一部を改定するなどして、その水準を前年度以下に抑制する方向で、財政監視監督を堅持、強化することを図る。また、地方財政についても、効率的・効果的な財政構造への転換を進める方針である。一方で、年次財政計画の実績値は、年度間で相違していよいよなっており、市町村の財政は、入の収益構造が市税収入に大きな伸びが見えており、税率による財源調整などでの抑制が求められる。税率による財源調整などでの抑制が求められる。

事務事業の見直しを進めるとともに、新まちづくり計画に掲げる事業には積極的に予算を計上する。平成17年度の経済見通しが、雇用や所得環境について改善傾向を示すのに伴い、今後も同様の見通しが維持されれば、その結果、財政状況が緩和していくことが期待される。一方で、内閣府の「地方創生化」による事業の活性化と集中化によって、市町村の競争が激化するなどして、市町村の財政負担が増加する可能性がある。そこで、市町村は、既存の資源を活用しながら、新たな資源を創出するなどして、財政基盤を強化する方針である。

市長提案説明
から



代表質問から

8名の議員の質問と、市長などの答弁を紹介します。



○指定管理者制度

④ 公の施設の民間による管理を可能にするとの制度の導入は、これまで公の施設を管理してきた出資団体にとって、組織の存続に大きく関わるものである。今後の出資団体の見直しと、指定管理者制度との関わ

答 田舎団体の見直しで、今後はそれが田舎団体運営の側面から見直されると同時に、具体的に「取り組むべき」としていこう。まずは年4回から、田舎団体が運営していく公的機能についても、指導監視者制度導入への取り組みを進める。今後は、指導監視者制度導入への取り組みを進めるべきである認識でいく。

問 指定管理者制に民間企業が参画するに付けて、地域経済にとっても大きくなるやうやくと思われる。それを防ぐための指導監視制度を実現するに向けたべきことをお尋ねするが、指定管理者制の開設すべきことを認め、指導監視制度の開設に向け、どのようにして実現するか。

民主党・市民の会

小野正美議員

○障がい者の地域生活支援

問 障がい者の就労の場として重要な通所授産施設や小規模作業所を、今後どのように拡充していくの

答 が。

「ちくし語画」に基き、毎年度力所の計画的整備を進めており、小規模作業所については、より実態に即して補助基準の見直しを行う中

小規模作業所のあり方について
る。

は、当事者団体で構成される連絡協議会と、昨年5月から7回にわたる検討を行い、従来の福祉的就労を中心

心とした機能に加え、自立に向かた企業への就労支援を重視するなどの類型化を図った。さらに、補助基準

についても、こうした機能や特性を応じた加算制度を設け、作業所の運営について、よりきめ細やかな支援を行っていきたいと考えている。

○子どもの体験事業「大志塾」

▲大志塾では、豊かな心と創造性あふれる子どもの育成を目指す

公明党
ほんこうとう
議員
としうん

公明党
ほんごうとう
本郷俊史
ほんごう としほり
議員

問 市政世論調査では、約4割の市民が投票を「安全・安心なまち」に投票する意図を示す。

とは思わない」と答えた約3分の
が「警察・消防・市役所などの行
機關の連携による対策」を望んで

るが、このした調査結果をどのように捉えているのか伺いたい。

考へる上で何よりも大切なのは市と警察、行政による連携だと考へが、その現状を伺いたい。

答

答 いの事業では子どもの権利条約における意見表明権などを尊重し、子どもの主体的な活動を基本としているが、子どもたちがお互いに協力しながらの計画の立案や活動をスマートに行えるような環境が必要

を確保し、説明責任を果たしていく
のが伺いたい。



